

上川町水道ビジョン(案) 修正比較表

上川町水道ビジョン(案)修正比較表

修正後	現行
<p>14ページ</p> <p>4.5 経営状況の分析</p> <p>上川町水道事業では、中央上水道事業及び層雲峡上水道事業の会計を一括で行っています。本ビジョンでは、収益的収支の特徴について述べます。</p> <p>平成14年度から平成23年度における給水収益と収益的収入と収益的支出(費用)の差額の実績を図4.1に示します。給水収益は、平成20年度以降、使用水量の減少に伴い、減少しています。純利益は、平成14年度以降減少し、平成18年度には欠損金が発生しています。これは、観光業の企業の破産が確定し、特別損失処理を行ったためです。その後、給水収益は増加しましたが、平成20年度以降、給水収益は減少し、平成22年度以降、再び欠損金が発生しています。</p> <p>20ページ</p> <p>6.3 持続：供給体制持続性の確保</p> <p>(1) 経営の健全化</p> <p>◆適切な料金設定</p> <p>給水人口の減少により給水収益は年々減少し、水道事業会計は平成22年度以降赤字に転じ3年が経過しています。一方で、昭和40年代に建設した浄水場などの水道施設は老朽化し、大規模な更新時期を迎えており<u>ます</u>。将来とも安心して安全な水道水を供給するためには、施設の更新は避けることができない状況になっています。</p> <p>施設を適正に維持管理し更新を進め、このビジョンに掲げた各政策を実現するためには、現行の料金体系ではその収入を確保することは困難であり、<u>今後ともより一層の</u>効率的運営に努めるとともに、将来を見据えた料金体系の構築を図り、経営の健全化に向けて取り組みます。</p>	<p>4.5 経営状況の分析</p> <p>上川町水道事業では、中央上水道事業及び層雲峡上水道事業の会計を一括で行っています。本ビジョンでは、収益的収支の特徴について述べます。</p> <p>平成14年度から平成23年度における給水収益と収益的収入と収益的支出(費用)の差額の実績を図4.1に示します。給水収益は、平成20年度以降、使用水量の減少に伴い、減少しています。純利益・<u>欠損金</u>は、平成14年度以降減少し、平成18年度には欠損金が発生しています。これは、観光業の企業の破産が確定し、特別損失処理を行ったためです。その後、給水収益は増加しましたが、平成20年度以降、給水収益は減少し、平成22年度以降、再び欠損金が発生しています。</p> <p>6.3 持続：供給体制持続性の確保</p> <p>(1) 経営の健全化</p> <p>◆適切な料金設定</p> <p>給水人口の減少により給水収益は年々減少し、水道事業会計は平成22年度以降赤字に転じ3年が経過しています。一方で、昭和40年代に建設した浄水場などの水道施設は老朽化し、大規模な更新時期を迎えており、<u>将来とも安心して安全な水道水を供給するためには、施設の更新は避けることができない状況</u>になっています。</p> <p>施設を適正に維持管理し更新を進め、このビジョンに掲げた各政策を実現するためには、現行の料金体系ではその収入を確保することは困難であり、<u>一層の</u>効率的運営に努めるとともに、将来を見据えた料金体系の構築を図り、経営の健全化に向けて取り組みます。</p>

修正後	現行
<p data-bbox="98 153 255 185">24ページ</p> <p data-bbox="107 201 712 233">(2) 本ビジョンで対策を掲げられなかった課題</p> <p data-bbox="107 248 1106 472">本ビジョンは、上川町の基本理念・基本方針に基づき、50年後、100年後という将来を見据えて、具体的な施策を立案していますが、計画期間10年の中では、財政的な理由などから対策を講じることができていない課題もあります。これらの課題に対してもフォローアップ時には再度評価を行い、必要に応じて計画を変更して対策を講じます。</p>	<p data-bbox="1133 201 1738 233">(2) 本ビジョンで対策を掲げられなかった課題</p> <p data-bbox="1151 248 2150 472">本ビジョンは、上川町の基本理念・基本方針に基づき、50年後、100年後という将来を見据えて、具体的な施策を立案していますが、計画期間10年の中では、財政的な理由、<u>職員数などの理由</u>から対策を講じることができていない課題もあります。これらの課題に対してもフォローアップ時には再度評価を行い、必要に応じて計画を変更して対策を講じます。</p>